

# サット通信 Vol.2

2011.秋  
発行者 佐藤産業  
塗装・建設資材の総合販売会社  
http://www.satohsan.com

## 特集 秋号

### 第10回サットまつり

今年もやります!しかも業界初!

### 工場見学

布ポリマスカー  
日頃からお世話になってるあのアイテム

来て!見て!  
ウチの営業所  
東京営業所編 ②



# 来て!見て!ウチの営業所 ② 東京営業所編

2006年に足立区に開設。

東京営業所訪問営業所のある同区伊興は古くは鎌倉時代の古文書に登場する地名で、「伊興遺跡公園」には古墳も残っています。

また、職人さんの多い街としても知られており、北野武さん(ビートたけし)の父菊次郎さんがこの地で塗装業を営んでいたことは有名です。世界のキタノを育んだ土地でもあります。東京進出の第一歩はそんな足立区からスタート、5年が経過する現在、お客様も増え、活気ある若いパワーが同営業所を支えています。



東京営業所事務所



伊興遺跡公園

同営業所内

## サービスセンター

機械修理やメンテナンス、パンク修理と連日持ち込まれる塗装機器にすばやく対応。  
担当する杉山くんの腕はお客様からバツグンの信頼。



お任せください!



必要なものは全てあります!

同営業所併設  
塗装コンビニ

## 「サットショップ」

朝7時からオープンする塗装屋さんの強い味方。仕事前に足りない道具の補充に、帰りには明日の準備に立ち寄られるお客様。現物を手に取りながら品定めができるのが好評で、地域の職人さん達に親しまれるショップになっています。



## 所長インタビュー

東京営業所 所長 伊賀 和博

- Q 出身 A 北海道。～ 大きくて優しい、そのまま～
- Q 入社歴 A 16年。～ 当時も今も変わらないイケメンです～
- Q 座右の銘 A 今日有効な戦術が明日通じるとは限らない。  
～ おっハードボイルド!～
- Q リーダーの条件 A 統率力。～ ガイガイみんなを引っ張ってください～
- Q 5年後の自分 A 成長していきたい。  
～ 大丈夫、う〜んと大きな器になっていますって～

頑張ってます!



外見はソフト、内面は男気と明るさを兼ねそなえた所長というより頼れるアニキ?!です。

# サットまつりが変わった!

**すごい! 面白い! 業界初!**

佐藤産業では2000年秋から「サットまつり」を毎年開催してきました。年々、展示メーカーとお客さまが増え、会場も広げてまいりました。この10年、お客さまには家族ぐるみでご参加いただくなど、楽しみにしていただけてきましたが今回は更にグレードアップしました!

## WEBでまつり! サットまつりinネット

今回の「サットまつり」はいつでも、どこでも、どなたでも参加できるスタイル。今まで仕事や体調、他の行事と重なって参加できなかったお客さまにも楽しんでいただけるWEBでの開催です。期間も従来の2日間から1週間に延長、ぐっと身近になりました。



## 業界初の画期的な試みにあなたもチャレンジ!

参加方法は簡単、[www.satto-matsuri.com](http://www.satto-matsuri.com) にアクセスするだけ。開催期間中は24時間いつでも都合のよい時間にオークションやゲームを楽しんでいただけます。



**日本初の塗装ゲーム**  
あなたの腕前をためそう! 優勝賞品をGET! するのは誰?



好評のオークションもラクラク参加!  
あなたの落札金が**震災復興支援**に!

※このサイトは期間限定です。10/24朝10時~10/31夕方6時までです。

# WE LOVE PEOPLE! 出番で~す!

佐藤産業では「支えよう! 励まそう! 頑張ろう 震災復興支援!」を合言葉に支援を進めてきました。

震災直後、佐藤社長は現地を訪れ、ユーザーはじめ取引関係者を回りました。行く先々、惨状のなか立ち上がろうとする被災者の皆さんの姿に目頭が熱くなりました。その後何度も足を運び長期支援を行っています。

現在は佐藤産業本社 3F300坪倉庫の無料貸し出しやサットまつりオークションの売り上げすべてを義援金にするほか、塗装業者さんたちと塗装ボランティアを計画、有志を募っています。復興が進むにつれ、われわれの出番がやって来ます!



佐藤産業本社倉庫 3F (300坪)



長期資源が必要な被災地

# 工場見学 No.2

取材協力 西都商会大阪

## 今回は塗装屋さんの強い助っ人、布テープ付きマスキング (通称、布ポリマスキング) を取り上げます。



布ポリマスキングとは、粘着テープとシートが合体したもの。塗装時に塗料がはみ出したり、跳ねたり、落ちたりしても支障のないよう塗装現場を養生する塗装用品。美しい仕上げには不可欠なプロ御用達アイテムです。

これが生まれるまでは、新聞紙を広げテープで止めていましたが、この作業は2人がかりでも手間取り、時間を要しました。布ポリマスキングの登場で、現場作業効率は数段アップ、職人さんを喜ばせたものです。この便利な布ポリマスキングは30数年前に日本で開発された**メイドインジャパン**です。塗装先進国アメリカでもヨーロッパでもなく、きれい好きの日本人らしい発明です。当時、ポリエチレンシートは0.02ミクロン~0.03ミクロンと厚かったのですが、現在では0.009ミクロンまで薄くなり簡単に手で切れるまでになっています。また素材も今ではハイデン(H.D)シート(80度で燃焼)になり環境にも配慮され、その上、塗料が留まるコロナ処理が施されるなど進化しています。それと同じく粘着テープも年々改良されて、上質な布ポリマスキングが生産されています。



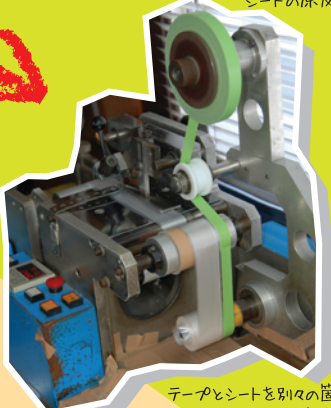
シートと合体する前のテープ。



シートの原反のサイズもさまざま。

今回訪ねたのは粘着テープとポリシートを合体させる布ポリマスキング製造・加工工場です。工場主の薬師川さんは巻き取り工作機械を自分で開発するこの道30年のベテラン。テープとシートを知り尽くしています。原子炉建屋専用の特殊布ポリマスキングを製造したこともあるそうです。日本人の細やかな心遣いが生んだアイデア品の完成を見てみましょう。

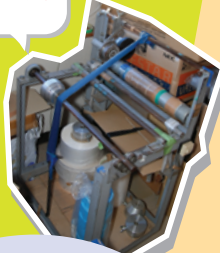
30年前に開発された巻き上げ機も手動だった。



テープとシートを別々の箇所から巻き上げ、この機械が両方を密着させる。



完成したさまざまな布ポリマスキング!!



### 布マスキング ミニ知識

関西と関東で使う布ポリマスキングの粘着テープ部分の幅が違う!? 関西16mm、関東20~30mm、北海道は30mm。これは単なる習慣の違い? それとも好み? いえ、地域の気温など気候等が関係しているようです。



薬師川さんアドバイス

## 失敗しない布マスキングの使い方

- 1 完全養生の徹底**  
隙間を作らない。特にエア吹き塗装の場合は布マスキングの下にクラフト紙を貼る(ポリシートは塗料は通さないがガスは通す)。
- 2 テープはゆっくり丁寧に剥がす。**  
すばやく雑に剥がすと糊残りしやすい。

要するに被着体(布ポリシートを貼る面)をよく知ると失敗しない。たとえば雨どいなどを養生する場合、水分が残っていると密着しません。その場合、紙マスキングを巻く・水分を取るなどして布ポリマスキングで養生します。気泡のある被着体などは糊が残りやすいので布ポリマスキングのテープを丁寧に剥がします。被着体によっては紫外線で化学反応を起し剥がれない場合もあるそうです。